

第1学年英語科学習指導案

平成28年10月21日 第5校時

須崎市立朝ヶ丘中学校

1年C組 生徒23名（男子11名 女子13名）

場所 1年C組教室

指導者

1 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1（開隆堂） PROGRAM7 The Wonderful Ocean

2 単元について

○単元観

本単元は、由紀とマイクが北海道の釧路沖でシャチウォッチングに参加して、ガイドの笹森さんからシャチやイルカの生態について教えてもらうという内容である。海のギャングと呼ばれるシャチだが実は家族を大切にすることや、室蘭沖のイルカが豊かな海でのびのびと子育てしている様子を通して自然の素晴らしさ、大切さを感じることができる題材である。

言語題材としては疑問詞 **who**, **when** を習得して、三人称単数現在形と組み合わせることで、多様な表現に結び付くことができる。また、代名詞の目的格を習得することで、つながりのある英文を意識させ、単元目標の「読むこと」の（ウ）「物語のあらすじや説明文の大切な部分を正確に読み取ること」を重点的に指導し、外国語理解の能力を養いたい。

○生徒観

全体的に学習に対して意欲的で、授業の始まりの **Daily Conversation** への取り組みにも毎回、元気に発話する姿が見られる。個人、ペア、そしてグループでの活動のどれにおいても内容に差はあるものの、ほとんどの生徒は間違いを恐れず、積極的に発話練習を行い、コミュニケーション活動を楽しむことができている。男子に比べて、女子の中の数名は声を出すことが苦手な場では聞き取りにくいくらいの声量ではある。しかし、ペア活動においては友だちに助けをもらいながら発話練習をしている。また音と綴りが一致しない5名程度の生徒が書くことの定着には時間がかかり、全校単語テストにおいて、80点の合格点をクリアすることができない状況である。ICTの活用は、新たな単元や文法を学習することにおいて、表現しようという気持ちを持たせるために重要な役割を担っている。

1学期の授業アンケートによると95%の生徒が英語の授業が好きであると答えている。この結果を継続できるような教材開発が必要と感じている。

○指導観

探究的な学びを目指して、生徒がやってみたいと思う課題を設定し、まず個人で主体的に考え、そしてペア、グループ活動など対話的な活動を取り入れ、意見を交換することによって、考えを深めるねらいで取り組んでいる。この単元の最終目標は与えられた2つの題材(**Discover Kochi**)から各班が1つを選択してマッピング、表を使って読み取ることとする。何のためにこの活動を行うのか

1	<p>◆本文を聞くこと、読むことで本文の大意をつかみ、単元ゴールの「英文を読んで理解する」ことを意識する。</p> <p>○教科書（7-①～③）の単語を口頭練習する。</p> <p>○教科書（7-①～③）の本文を聞き、大意を把握する。</p> <p>○教科書（7-①～③）の本文を音読練習する。</p>					
2	<p>◆疑問詞 who を含む疑問文の文構造を理解する。</p> <p>○疑問詞 who の口頭練習をして、ワークシートに書く練習をする。</p>			○	エ①疑問詞 who を使って正しい語順で書くことができる。	後日テスト
3	<p>◆代名詞 (him, her) を含む文構造を理解する。</p> <p>○代名詞の口頭練習をして、ワークシートに書く練習をする。</p>			○	エ②代名詞を使って正しい語順で書くことができる。	後日テスト
4	<p>◆疑問詞 when を含む疑問文の文構造を理解する。</p> <p>○疑問詞 when の口頭練習をして、ワークシートに書く練習をする。</p>			○	エ③疑問詞 when を使って正しい語順で書くことができる。	後日テスト
5	<p>◆本文を読み取るために、マッピングを活用した読み取り方法を理解する。</p> <p>○教科書（7-①）の本文を読み取る。</p> <p>・（7-①）シャチと女性の笹岡さんについての読み取り。</p>	○			ア①繰り返して読んだり、読み返したりして、読み続けている。	活動の観察
6	<p>◆本文を読み取るために、マッピング、表を使って読み取る方法を理解する。</p> <p>○教科書（7-②）の本文を読み取る。</p> <p>・（7-②）シャチのニックとシャチの母親についての読み取り。</p> <p>・読み取ったことを3文程度でリテリングする。</p> <p>○教科書（7-③）の本文を読み取る。</p> <p>・（7-③）イルカについての読み取り。</p> <p>・読み取ったことを3文程度でリテリングする。</p>	○			ア①繰り返して読んだり、読み返したりして、読み続けている。	活動の観察

7 本 時	◆ 2つの題材から各班が1つを選択して、読んで理解する。(辞書、マッピング、表)			○	ウ①英文を読み、理解することができている。	ワークシート
-------------	--	--	--	---	-----------------------	--------

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 英語で書かれた題材をマッピング、表を使って読み、理解することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・ 英文を読み、理解することができている。

(3) 準備物

- ・ 2つの英文(Discover Kochi)
- ・ Daily Conversation シート
- ・ 電子黒板
- ・ 別冊リーディングワークシート
- ・ ノート
- ・ 辞書
- ・ ホワイトボード
- ・ 付箋
- ・ タイマー

(4) 学習の展開 ☆fast learner への手立て ★slow learner への手立て

	探求的な学習の流れ	学習活動	指導上の留意点	評価規準	表価方法
導 入 7 分		①あいさつ ②Daily Conversation ・ 口頭練習 ・ ペア活動	・ 全員に声を出させるようにする。 ・ 既習の英語を聞く・話すことによって英語学習の雰囲気を作る。 ・ 積極的に会話するように指導する。 ★つまづいている生徒には発音指導する。		
展 開 4 0 分	課題の提示 (全体) ↓	③Teacher's Talk ④読み取りの復習 リーディングワークシート P.5 のスミス先生について読み取る。	・ 本時のめあてを提示する。 ・ 電子黒板に別冊リーディングワークシート P.5 を写し、全員で読み取らせる。		
	思考する (個人) ↓	⑤英文の紹介 ・ 各班が英文を選択 (自己決定) ・ 選択した題材を個人で読み取りキーワードをマッピングする	・ A と B の2つの題材を電子黒板に提示する。 ・ 各班に選択した題材を配付する。 ・ ノートに個人でマッピングさせる。 ・ 辞書はできるだけ使わないように伝える。	ウ①	観察 (ワークシート点検)

英文をマッピング、表を使って、読んで理解する

メインの活動に時間を取るためにこの活動は省略した方が良いでしょう。

	(班)	<ul style="list-style-type: none"> マッピングしたことを付箋に書き、表に貼ってまとめる キーワードをもとに英語にして、1文ずつ発表する (共感的人間関係) 一人ずつ順番に発表する (自己存在感) 他の班員とリテリングする AとBがペアになる 	<ul style="list-style-type: none"> 付箋を配付する。 5W1H が書かれた表を配付する。 表を使ってまとめさせる。 一人が1文ずつ順番に言うことで英文を共有させる。 (相手が聞き取れるように伝える。) 既習の単語・語句を使って表現させる。 友達の発表を聞いた後、もう一度英文を考えさせる。 全員が3～5文程度の英文で言える準備をさせる。 全員が発表することで内容理解の確認とする。 友だちの発言に注意して聞かせる。また、良い表現方法を習得する。 ☆読むことが苦手な仲間を支援するように指示する。 ★理解度を確認しながら、必要に応じて支援する。 		
まとめ 3分	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 発表したことをノートにまとめる(宿題) 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標について肯定的な評価をする。 		

5W1H の表でまとめられるような英文を準備されていますか？例えば、Anpanman is not a super hero. のような英文では5W1H の表ではまとまりませんが…。OK？

班全員が順に発表するとかなり時間がかかるのでペアでやってはどのように？

7 板書計画

Friday October 21

目標 英文をマッピング、表を使って読み取る

	1	2	3	4	5
めあての確認 班で協力する					
授業の流れ ・Daily Conversation					
解決活動 ・発表の練習					
まとめ					